

平成 25 年度第 1 回京都府地域訓練協議会議事概略

京都労働局職業安定部求職者支援室

○日 時

平成 25 年 6 月 4 日（火）15：00～17：00

○場 所

京都府立総合社会福祉会館「第 5 会議室」

○委 員

（敬称略）

同志社大学社会学部産業関係学科教授	富田 安信
(株)京都放送常務取締役	北川 信彦
日本労働組合総連合会京都府連合会事務局長	西村 英二
京都経営者協会総務情報管理部専門課長	塚本 元<代理>
京都商工会議所会員部副部長	植村 章弘<代理>
京都府中小企業団体中央会事務局長	近本 利和
(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 京都職業訓練支援センター所長	酒井 倫生
京都府職業能力開発協会事務局長	今尾 隆幸
一般社団法人京都府専修学校各種学校協会副会長	相川 三郎
大栄教育システム(株)京都駅前校マネージャー	山本 宣円<代理>
近畿経済産業局地域経済部産業人材政策課長	児玉 桂子<代理>
京都府商工労働観光部労政・人材育成課副課長	渡辺 英樹<代理>
京都市産業観光局商工部中小企業振興課担当課長	山中 かおり<代理>
京都労働局職業安定部長	安達 隆文

○議事内容

- 1 事務局から「平成 25 年度全国職業訓練計画」について報告を行った。
- 2 平成 24 年度公共職業訓練の実施状況及び平成 25 年度実施計画について、京都府並びに（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構から報告を受けた。
これに対し、①富田委員から公共訓練実施にあたって、課題と対策についての質問があり、渡辺委員代理から就職率は高水準で推移しているが、定員充足について充足率が 100%になるよう努力したいこと、また、酒井委員からは定員充足についてハローワークと連携を図ることを説明された。
②西村委員から京都府の委託訓練が、前年度に比べ定員総数が減少したこ

との説明に対して質問があり、渡辺委員代理から定員総数は減少となったが平成 24 年度受講者実績に近い定員数は確保できていることを説明された。

③山中委員代理から施設内訓練【機構】の科目設定や見直しについて質問があり、酒井委員から地域ニーズに応じた見直しやカリキュラムの変更を行っていることを説明された。

3 事務局から平成 24 年度求職者支援訓練の実施状況について報告を行った。

西村委員から平成 24 年度に中止コースが 39 件発生していることに関して、中止コースを希望していた受講希望者のアフターフォローについて質問があり、事務局から中止コースに係る募集延長の取扱いや、他の同一分野の訓練（他府県を含め）の案内など対処していることの説明を行った。

4 事務局から平成 25 年度京都府地域職業訓練実施計画（案）について、各委員に提案し審議を図った。

特に計画に対する意見は無かったが、西村委員からお願いとして、京都府・国・機構の連携により正社員として就職できた具体的な好事例があったことを発表いただき、今後も一体的に支援が行えるよう連携を取ってほしいとの発言があった。

これに対し、安達委員から京都府との一体的実施にも触れ、関係機関が連携を図っていくことを説明した。